

第4回都市交通システム海外展開研究会の開催について（結果報告）

アジアや中南米地域など、経済発展による都市化と著しい交通渋滞が発生している大都市において、都市交通システムの必要性が拡大しています。国土交通省では、国際的な競争が激化する中で、日本が有する「都市交通システム等の整備における民間企業・公共団体・国の総合力」という「強み」を活かすべく、関係者が幅広く参加する本研究会を設置いたしました。

本研究会は、各国政府の都市交通に関する動きなどの情報の早期収集・共有、官民一体となったトップセールスの展開等により、我が国が有する技術・経験等を活用した海外でのインフラ整備プロジェクト等の実現を支援することを目的とし、この度、第4回を開催いたしましたので、お知らせします。

○開催概要

(1) 日 時：平成28年3月2日（水）9時00分～11時00分

(2) 会 場：JICA 市ヶ谷 国際会議場

(3) 主 催：国土交通省 都市局

(4) 委 員：

- | | | |
|----------|-------------------------------------|-----------|
| ＜座 長＞ | 日本大学教授 | 岸井 隆幸 |
| ＜副座長＞ | 国土交通省 大臣官房技術審議官（都市局担当） | 清水喜代志 |
| ＜委 員＞ | 横浜国立大学教授 | 中村 文彦（欠席） |
| | 東京大学准教授 | 瀬田 史彦 |
| | （公社）日本交通計画協会、（一社）日本モノレール協会、 | |
| | （公社）立体駐車場工業会、（一財）都市みらい推進機構、 | |
| | （独）国際協力機構（JICA）、（独）日本貿易振興機構（JETRO）、 | |
| | 国際都市計画交流組織推進協議会（INEX）、 | |
| | 国土交通省 総合政策局海外プロジェクト推進課長、 | |
| | 道路局企画課長、鉄道局国際課長（欠席）、 | |
| | 都市局街路交通施設課長・街路交通施設企画室長、 | |
| | 都市局都市計画課都市計画調査室長 | |
| ＜オブザーバー＞ | （独）都市再生機構 | |

(5) 参加者：70名

(6) 研究会結果概要

- ・岸井座長の挨拶の後、清水副座長から、国土交通省都市局における海外展開の取組状況として、JICA 等関連機関との連携、技術協力として専門家の派遣、開発調査への働きかけ、都市交通セミナーの開催やトップセールス等に関する報告がなされた。
- ・(独)国際協力機構(JICA)から、「質の高いインフラパートナーシップ」の推進のための取組として、有償資金協力、PPP支援、海外投融資のスキームについて説明がなされた。また、都市鉄道分野の事例としてパナマでのモノレール事業について紹介がなされた。
- ・(株)海外交通・都市開発事業支援機構(JOIN)から、支援対象や支援の方針について説明がなされた。また、支援事例として、テキサス州高速鉄道事業やブラジル都市鉄道事業等の紹介がなされた。
- ・(公社)日本交通計画協会から、研修会・セミナー等の活動報告や現在開発中の高速AGTの紹介がなされた。
- ・(一社)日本モノレール協会から、平成27年4月に開業した韓国・テグにおけるモノレールプロジェクトの紹介がなされた。
- ・(公社)立体駐車場工業会から、シンガポールでの機械式駐車場プロジェクトや今後の海外展開について紹介がなされた。
- ・国土交通省都市局街路交通施設課から、インド鉄道におけるPPP方式による駅舎再開発プロジェクトについて情報提供がなされた。
- ・講評として、東京大学瀬田准教授から、「コンセプトやシステムとしての展開が重要」「産官学全体で盛り上げていくことが重要」との発言がなされた。
- ・総括として、岸井座長から、「今後各国が近代化した際の都市交通システムの重要性を含めて説明していくことが重要」「今後も意見交換頂き、知見を深めて頂きたい」との発言がなされた。
- ・最後に、清水副座長から閉会の挨拶があり、研究会を閉会とした。



問い合わせ先

国土交通省 都市局 街路交通施設課 大櫛

代表 03-5253-8111(内線 32853) 直通 03-5253-8417